



①田植機を使った田植の様子
②ニンジン畑

6月下旬に町内の農家さんのところへインターンシップに行ってきました。今までの暮らしでは考えられないくらいの沢山の野菜に触れ、ものすごく新鮮な2週間でした。特に印象に残っているのは、下高場区で活動されている新規就農の方のお話です。福岡市などの町外から筑前町へ移住されて、イチから農業を始められたとのことでした。

今後も農家さんへのインターンシップを続けていきます。次はどのような発見があるか楽しみです。

7月5日(木)～10日(火)福岡三越地下一階＝ラシックで「朝倉復興応援フェア」として朝倉地域の加工品を販売してきました。会場では加工品を販売するだけではなく、筑前町のPRとしてフォトコンテスト応募作品の写真パネルや町のタペストリーの展示、ドローンで撮影した動画の放映なども行いました。

地下二階で行われていた催事との連動企画として行った抽選会の効果もあり、来店されたお客様に筑前町の良いアピールが出来ました。

筑前町の魅力発見のインターンシップ

(地域活性化プランナー 山口)

福岡三越で筑前町をPR

(農林資源活用プランナー 森)



①②福岡三越地下一階(ラシック)の販売・筑前町のPRブースの様子

地域おこし協力隊通信

いっちゃんやるばい!!



vol.24

原稿：森・山口
デザイン：甘城

葉月
HAZUKI

今月まで ちくせんフォトコン 2018
～春・夏の部～

撮影した写真にInstagramでハッシュタグ
「#ちくせんフォト2018」
「#ちくせんフォト」

の2つを付けて投稿!

応募期間：3月16日(金)～8月31日(金)
問合先 筑前町地域おこし協力隊 (担当:武田) 詳細は、Instagramアカウント
takeda.chikuoko@gmail.com [@chikuzen_okoshi] を検索

QRコードを読み込んでアクセス可能

イチニチチケゼン

町内の人からすると何気ない日常。

しかし、町外から来た地域おこし協力隊にとっては新発見!
筑前町の良さを見つけるコーナー。



地域おこし協力隊 | 農林資源活用プランナー
takeshi_mori



休日のたびに野菜を買に行くみなみの里。新鮮なのはもちろんのこと、関東では見ないような珍しい野菜や面白い野菜がいっぱい。先日行った時に購入したのが“巨大キャベツ”直径約25センチ。このサイズを買うことが出来るのもみなみの里ならでは。おかげでキャベツ料理のレパートリーが増えました。

地域おこし協力隊とは?

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行う。その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。(任期:最長3年間)

筑前町地域おこし協力隊の活動をもっと知りたい方は公式ホームページからチェック! 各SNSにもアクセスできます!

筑前町地域おこし協力隊 [検索](#)

QRコード